

# 古くて新しい諺と「座右の銘」

公益財団法人  
新教育者連盟理事長 代田健藏

新教育者連盟創始者谷口雅春先生の御著に数々の「智慧の言葉」が発表されていますが、その中でも私自身深く感動し、自身の座右の銘としてきた言葉が「成ると信じて明るい努力」です。これの反対の言葉は「どうせだめだと諦めて暗い心で何もしない」ということになり、これでは何一つ成功する見込みはないでしょう。

以前と言いましても、今から20年以上も前のことですが、ある著名な会社の社長室に伺った時、「河海細流不撰」の色紙が架けられているのを見て感動し、いまだに強く心に残っています。

「河海細流を遣はず」の言葉を改めて説明する必要はないと思いますが、河とは水量の豊かな大河であり、海も一番低い位置にいて、どんなに些細な流れであっても、無条件で受け入れる度量(謙虚さ)があつてこそ初めて大河となり、大海となるとの譬えであり、自身に省みて実に胸に突き刺さる感のある素晴らしい言葉と申せましょう。

世界最古の歴史をもつ我国では長年の経験に照らして、教えきれないほどの素晴らしい格言や諺が残されています。「艱難(かんなん)を汝(なんぢ)を玉にす」「若い時の苦労は買ってでもせよ」や「可愛い子には旅をさせ」などはほとんど死語のようになっていっているのではないのでしょうか。

蛇足ながら「旅をさせ」とは「観光旅行」の意味とは正反対の言葉です。そう言えは私が30歳くらいの時、近所に住んでいた老婆が「若い時に苦労して汗を流さなかったら、晩年にそれが涙となつて流れて来る」と言っていた言葉も深く印象に残っています。



谷口雅春  
森田幸好  
中谷英子  
山中明子  
長谷川朋子  
鈴木美恵

自分に誇りをもち 親に誇りをもち 祖国日本に誇りをもち 青少年を育成する

責任編集  
公益財団法人 新教育者連盟

# 生命の教育

「生命の教育哲学」創始者 谷口雅春先生御揮毫

令和 5 年 6 月号 もくじ

巻頭のこぼれ 新教育者連盟理事長 代田健藏  
古くて新しい諺と「座右の銘」

## 特集 あいさつができる子は優等生

- 5 深切な動作を身につければ運命もよくなる
- 8 適度な挨拶には大いに褒めましょう
- 10 「ありがとう」「ごめんなさい」も言える人に！
- 12 笑顔で挨拶、明るい家庭
- 13 どんな時も先ずは挨拶から
- 15 「あいさつをしましょう」に教えられたこと

- 18 〈シリーズ〉生命の教育とは(3)

(公財)新教育者連盟理事長 代田建藏

- 17 子育てワンポイント(72) 思いやりの心を！
- 20 子育てQ&A グループから外された娘がかわいそう  
志望校に入ったら勉強しなくなった  
子供たちをすぐに怒鳴ってしまう  
少年野球に夢中で勉強をしない  
ゲームを取り上げると大声で泣き出す
- 25 子育ては母育て(127) 病気に立ち向かおう
- 26 世界がおどろく日本の魅力(28) 美しい雨が降る国
- 27 日本国憲法の問題点(92) 台湾有事の際の日本人退避は可能か  
日本のしきたり(66) 「傘」
- 28 親子で読むものがたり(129) ご先祖様を敬いましょう
- 30 広がる仲間の輪—喜びの声— 兵庫支部の生命の教育研修会
- 31 新教連活動あらかると  
◇ 新教連創立70周年記念全国研修会の案内、紙芝居「古事記神話」第5幕紹介、  
子供作文入賞者発表と作文紹介、新教連教育アドバイザーの案内ほか  
◇ 6月の支部行事
- 34 事務局短信・編集後記・次号案内

出口正博  
大原和子  
小林義典  
杉山紀代子  
鎌倉弘行  
執行ひろみ

田下昌明  
井上雅夫  
勝岡寛次  
辻川牧子  
南 敏雄

## 生命の教育 七つの心得

- 一、子供に宿る善性を信じ、これを引き出し伸ばし、育てます。
- 二、どの子の個性も尊重し、この世に生まれた使命を生かします。
- 三、よい習慣をしつづけて、正しいしつけをいたします。
- 四、問題の子供は心の病気、実は優秀児の仮の姿で、親方を一転します。
- 五、親が変われば子が変わる。何よりもまず、明るい家庭をつくります。
- 六、いつもニコニコ、やさしいコトバ、認めてほめて、たたえます。
- 七、花咲くことを疑わず、信じて気ながに育てます。

